

創業制度利用者のご紹介について

高知くるま旅レンタカー

代表

えだしげ あきら

枝重 明さん

カーディーラー勤務時代に車中泊の魅力ハマリ、旅の概念が一変した枝重明さん。

車での気ままな旅の魅力を広めたいと、60歳を前に退職し、「高知くるま旅レンタカー」を創業。

これまで培った自動車整備の経験も生かしながら、キャンピングカーの旅をコーディネート。その魅力を多くの人に伝えたいと奮闘しています。



車中泊×キャンピングカー で旅の概念が変わった

車が好きで自動車整備士の道に進み、カーディーラーに就職した枝重さん。長く勤務し、店の経営にも携わるようになった頃、あるモーターショーでキャンピングカー用の充電を搭載した、車中泊仕様のミニバンに出会いました。お子さんも大きくなり、犬に愛情を注ぐようになっていた枝重さんは、「これなら愛犬と旅行ができる！」と心を掴まれました。

まずは一度体験してみようと、自分の車を車中泊仕様にし、奥さまを誘って草津温泉に旅することに。「それで女房がハマってね。『次、いつ行ける?』と言われて、あちこち出かけるようになりました」と言い、ご自身も「旅の概念がまるっきり変わった」と振り返ります。

それ以来、金曜日の仕事終わりに出発する2泊3日の旅を何度も経験し、温泉がある道の駅、女性でも車中泊しやすいサービスエリア、おいしいご当地グルメなどの情報を蓄積。くるま旅のエキスパートになっていきました。

若い頃は仕事一筋で、「なかなか家族のことを考える余裕がなかった」と枝重さん。以前は「時間がないから旅行に行けない」という感覚でしたが、車中泊×キャンピングカーで旅は自由で身近なものになりました。

「この楽しさをもっとたくさんの人に知ってもらいたい」と、退職後は、誰もが気軽にくるま旅を楽しめるよう、キャンピングカーをレンタルする事業をしたいと思うようになりました。

会社概要

所在地 〒780-8004
高知市新田町19-5

TEL 090-8699-0004



「旅」という形のないものを売る

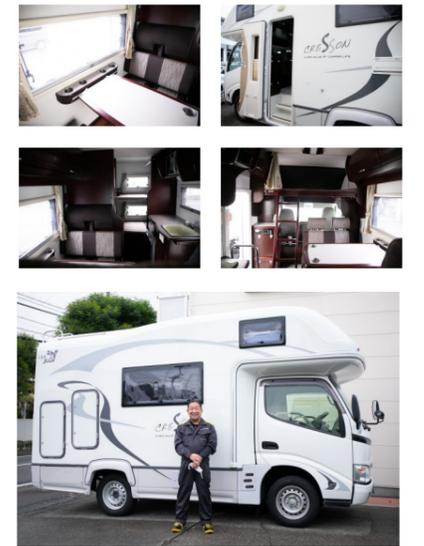
丁度その頃、高知市内にある輸入車の販売店が新たに工場を設立することになり、経験豊富な枝重さんを工場長として迎えたいというオファーがありました。工場の立ち上げから運営まで責任を持つ一方、自分が温めていたくるま旅の事業も並行して行うことで同意を得ました。

枝重さんは、2019年の12月にカーディーラーを退職し、2020年3月に「高知くるま旅レンタカー」を創業。この数年でキャンプ人気が高まり、キャンピングカーの市場も拡大しており、「購入後1~2年は車の資産価値は下がらないので、もしも事業がうまくいかなくても売却すれば損はない」と考えました。銀行から融資を受け、中古のキャンピングカー2台を購入し、レンタカーとして安心して貸し出しできるように自分で整備しました。

キャンピングカーの目処が立ち、次に必要なのは運営費。この思いを届けるために、「まずはホームページを作って、メディアでの広報活動やネットワークを使った発信をするべき」と、事業計画を作成し、銀行に融資を依頼。その際に高知県信用保証協会を紹介されました。「信用保証協会の存在はなんとなく知っていたが、内容についてはまったく知らなかった」と枝重さん。担当者とは相談しながら融資を受け、ホームページを作成し、さらに車1台を購入。広報にも着手し、本格的に事業をスタートしました。「ただキャンピングカーのレンタルをしたいわけじゃなくて、楽しく気ままな旅を提案したい。そのツールとしてのキャンピングカーながよ」と語ります。

コロナ禍でも

しかし、「高知くるま旅レンタカー」の創業後すぐに新型コロナウイルス感染症が日本中の人々を不安に陥れ、外出自粛を余儀なくされていました。資金を投入してPRを行うも反応はほとんどなく、春休みからレンタカーの稼働を考えていましたが、実際に動き出したのは夏休みになってからでした。「お盆はすごかったねえ。みんな土佐清水や柏島に行って、全車フル稼働やった」と振り返ります。家族旅行の新しい形としてキャンピングカーのレンタル需要が伸びたことは、とてもうれしいことでした。朝早くにキャンピングカーを借りたいというお客様に、「朝出るならここまで行けて、ここで泊まれる。夜出発して、ここでお風呂に入ってここで泊まったらここまで行ける」と情報を提供し、一緒に旅を作るのが「高知くるま旅」です。「キャンピングカーは夏のイメージが強いけど、くるま旅が本当に楽しいのは秋・冬ながよ。美味しいものも増える」と、利用されたお客様にダイレクトメールを送るなど、新たな魅力の発信にも余念がありません。「利益は少なくてもいいから、とにかく車中泊を楽しんでほしい」と価格は低めに設定し、車中泊の旅が気軽に身近なものになるようにしています。



これまでに約50組の方に利用してもらい、帰り際には必ず「楽しかった！また利用したいです」と、キラキラの笑顔を見せてくれたと話します。

枝重さんは、「工場もレンタカーも3年で軌道に乗せる。65歳まで働いたら全部辞めて、自分用に詠えたキャンピングカーで家には帰らない旅をする」というビジョンを描いています。「5年後、車は全部売るか、同じように旅という『形のないもの』を売ることに情熱を持ってくれる人がいたら継いでほしい」と、この5年を全力で駆け抜ける予定です。

創業者に聞く！ 保証協会利用のご感想

利益は少なくてもいいから、創業に必要な資金は融資ですべて賄い、事業収入でそれを返すという条件を妻と約束し、事業を始めました。くるま旅を提供したいという夢を叶えられたのは、高知県信用保証協会を通じて資金を準備できたおかげです。

